



飯能消防団編集発行
平成8年11月15日 第3号

かわらばん

魅力ある消防団へ

飯能消防団

団長 金子堅造



飯能消防団は団の活性化に取り組んでおります。

その一として分団拠点設備の早期建設があります。消防団のイメージ向上を目指し、今年度は、大河原地区内に第三分団の拠点として車庫・詰所（二階建）の建設を予定しております。

その二として十月に全団員の帽子をフアイヤードレッド色のアポロキヤップに一新しました。さらに作業服もスマートな物に考えております。

その三として独身団員を対象に親睦パーティーの様な催物を企画検討しております。

飯能消防団は、入団していただける若者の感覚にあった魅力ある組織になる様に努力してまいります。今後共、よろしくお願い申し上げます。

消防団の活性化

埼玉西部広域消防本部

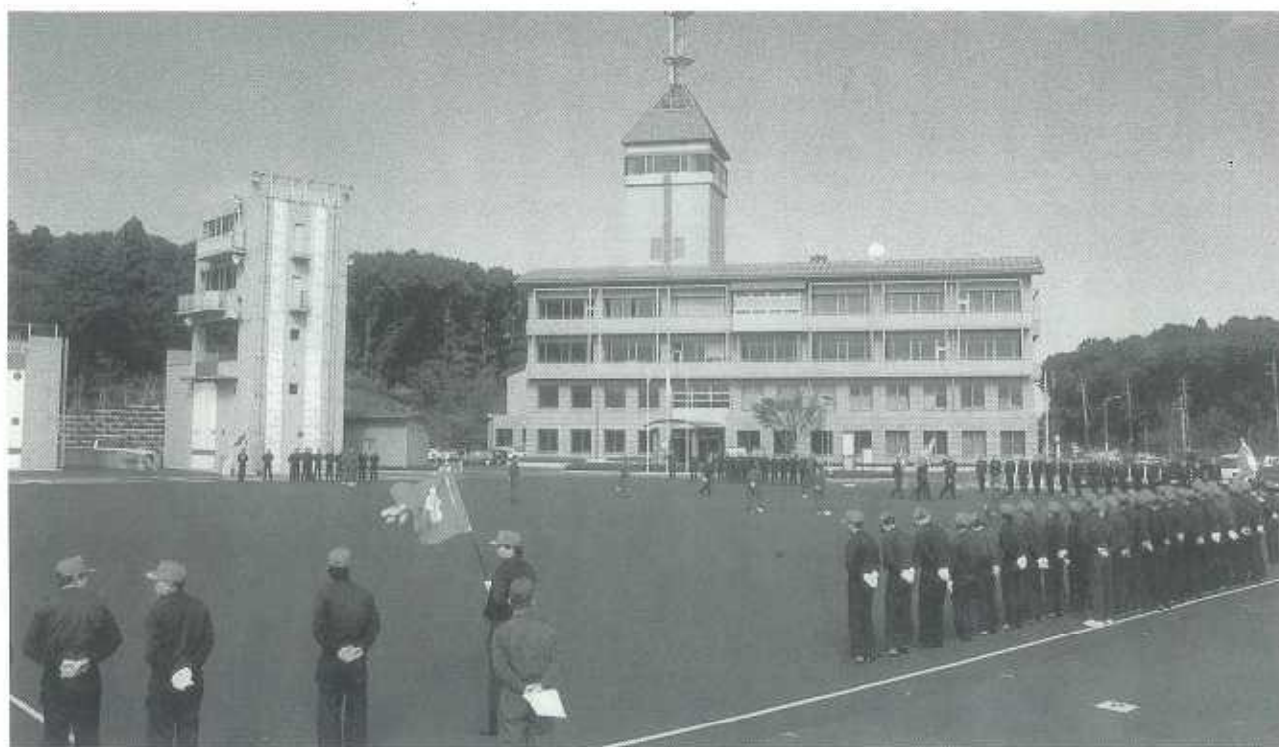
消防長 石田津義男



消防の組織力の強化、事務の効率化、住民サービスの向上のため二市一村による広域消防がスタートいたしました。

常備消防の組織は変化いたしました。消防団との関係は交流の機会が増し事業の幅が増した感じがいたします。

昨年の阪神・淡路大震災での消防団の活躍は、各方面から顕賞されました。消防団員は、その地域の住民と共に生活しており、災害はもとより催物など幅広く手を差し伸べてくれる温かく力強い存在です。しかしながら消防団員の確保は全国的な課題であり、近年全国では七千人余の女性消防団員が活躍しています。本市も将来、家庭防火の主役である女性を火災予防の強い流れとして期待するものです。



ようこそ！消防団ワールドへ

あなたも入ってみませんか？

この大きな呼び声、きつと皆さんの耳元まで届いているはずです。

防災センター完成を期に、飯能消防団は新時代を迎えました。同時に、「入って良かった」魅力ある団であり続けたいと考えています。それには、何よりも皆さんの積極的な入団が必要不可欠です。

表紙の写真は、防災センターでの訓練風景です。最新の設備を誇る快適な環境の中で、団のほとんどの行事がこのように行なわれています。

消防団は、様々な災害から市民の生命・財産を守り、地域の活動にも協力しております。そして、団員の研修・交流の場を通して、大きな人の輪が広がります。

阪神大震災で注目を浴びたボランティア。皆さんも消防団という身近な集団の中で、自己研鑽とボランティア体験を試してみませんか。



制服

消防団Q&A

Q 消防団に入っている人はどんな人ですか。

A 市内在住の、明るく健康的な人達が入っています。

Q 団員は何人いるのですか

A 現在全団員で375名です。

Q 報酬はあるのですか。

A はい、あります。一年に一度支給されます。

Q 消防団員の本職は何をしている人が多いのですか。

A 団員の約47%が会社員、25%が自営業、14%が公務員

その他いろいろな職業の人が入団しています。

Q 消防団員の平均年齢はどのくらいですか。

A 32歳位です。年齢は20代前半から50代前半までです。

Q 消防団はどんな活動をしているのですか。

A 特別点検、出初式をはじめ、毎月一回の機械点検、火防巡視、防火PRなどいろいろな行事がありますが、日曜日夜の8時頃からが多いので仕事にはそれほど支障は出

ません。

Q 入団して良い事がありますか。

A 職業、年齢層も広いのでいろんな人との交流が深まり友達も増えます。

Q 消防団員の勤続年数は何年くらいですか。

A 平均では10年未満の人が多く入団して来るので、それほど苦にならないようです。

Q 消防団に入団して一番楽しい事は何ですか。

A 忘年会・研修旅行などで無礼講の一時、涙が出るほど楽しいです。(入ってみて体験してください)

Q 消防団員は体を鍛えているのですか。

A 体を鍛える訓練は特にありませんが、自分の健康を考えてトレーニングをしている人もいます。

Q どうしたら入団できるのですか。

A 各地区の消防団員に聞いてみてください。



■小型動力ポンプ積載車（軽自動車）
型式：ダイハツV-S110W改
ポンプ種別：1段タービンポンプ



■消防ポンプ自動車
型式：いすゞP-NKR-58E2N改
ポンプ種別：3段タービンポンプ

真紅のラインナップ

ポンプ車は、山間部の五・八・九・十分団に一台ずつ配属され、各分団の中心的役割をになっています。

軽積載車は、七分団に一台配属され狭い道を敏速に移動することが出来ます。

積載車は、四・五・六・七・八・九・十分団に計二十五台配属されポンプの持ち運びが可能で自然水利の確保が容易です。

新積載車は、五分団に三台、八分団に四台配属されポンプを積んだまま放水でき、ポンプの持ち運びも可能です。尚、最新型の積載車が九分団に四台配属となりました。



■小型動力ポンプ積載車（新型）
型式：トヨタGB-YY211改
ポンプ種別：1段タービンポンプ



■小型動力ポンプ積載車
型式：トヨタHRN40改
ポンプ種別：1段タービンポンプ



作業服

消防団に入って

第九分団 中島好則

入団をして消防操法大会に参加し、その難しさに驚かされました。操法は覚えるだけでも大変で、その上に節度やスピードまで要求される厳しい内容でした。

つらい時もありましたが、先輩の指導で乗り切ることができ、思い出に残る経験をしました。

同時に消防団は後援会や地域の方々の協力によって支えられていることも理解できました。

この様な体験を通して、平成8年度新入団員二十九名の一員として、飯能市がより安

全で住みよい街になる様努力していきたいと思えます。

子供をたすけた

第十分団 田中 満

事故が発生したのは、十二月九日午前十一時過ぎのことでした。会社の隣の子供が池に落ちたと聞き、塀を飛び越えて行くと、池の外に寝かされていました。

既に、顔色は青白く、体は硬直し冷たくなっていました。呼吸も無く、脈拍を調べたが、自分の鼓動の方が高くてわからない。何度も何度も自分に着落着けと言いつつも、消防での救急講習のことを思い出しながら、人工呼吸、心臓マッサージを繰り返しました。そのうちに、自分で息をし始め、大声で泣き出した時には、自分の子供のように抱きしめました。

消防団では、毎年救急講習を行なっています。このような行動がとれたのも、消防署の方々による応急手当法のご指導があつてのことと、大変感謝しております。



飯能消防団役員一覧

	職 名	氏 名	詰所等		職 名	氏 名	詰所等		
団本部	団 長	金 子 堅 造	消防署内	第六分団	分 団 長	金 子 隆			
	副 団 長	小久保 勝弘			副分団長	今 泉 一 夫			
	副 団 長	柿 沼 敏 夫			本部部长	菊 地 大 吉			
	副 団 長	田 淵 誠 太 郎			1 部部長	清 水 伸 次		岩 沢	
	分 団 長	加 藤 潔			2 部部長	中 村 宜 浩		川 寺	
	部 長	小 島 良 造			3 部部長	大久保 利昭		落 合	
第一分団	分 団 長	山 崎 勝 義		第七分団	4 部部長	幅 忠 義	矢 風		
	副分団長	沼 崎 修 一			分 団 長	黒 米 正 幸			
	本部部长	小 峰 泰 男			副分団長	関 谷 幸 夫			
	1 部部長	安 藤 完 二			本部部长	志 村 和 男			
	2 部部長	渡 辺 貴 広			1 部部長	新 井 浩 昭		下 加 治	
	3 部部長	佐 藤 昌 宏			2 部部長	細 田 祐 二		平 松	
第二分団	分 団 長	鈴 木 弘 一		第八分団	3 部部長	野 村 光 男		双 柳	
	副分団長	大 澤 正 欣			4 部部長	陣 野 秀 幸	浅 間		
	本部部长	佐 島 孝 治			分 団 長	加 治 典 男			
	1 部部長	武 居 芳 明			副分団長	大 野 正 巳			
	2 部部長	長 岡 日 出 男			本部部长	大 窟 信 行			
	3 部部長	木 下 忠 雄			1 部部長	土 屋 雅 洋		原 市 場	
第三分団	分 団 長	橋 本 秀 夫		第九分団	2 部部長	山 川 敏 行		下 赤 工	
	副分団長	島 崎 好 司			3 部部長	梅 林 吉 弘		中 藤 中 郷	
	本部部长	小 川 勝			4 部部長	中 島 進	赤 沢		
	1 部部長	林 裕 次			5 部部長	関 口 宏 年	中 沢		
	2 部部長	小 沢 政 彦			分 団 長	若 林 誠 一			
	3 部部長	大 野 行 俊			副分団長	大 野 正 幸			
第四分団	4 部部長	駒 井 康 雄		第十分団	本部部长	浅 見 有 二		井 上	
	5 部部長	粕 谷 敏 久			1 部部長	小 林 正 治			
	分 団 長	堀 口 純 男			2 部部長	田 島 慎 司			白 子
	副分団長	細 田 正 之			3 部部長	加 藤 成 夫			虎 秀
	本部部长	加 治 文 幸			4 部部長	行 平 晃	瀬 尾		
	1 部部長	細 田 清 志			5 部部長	島 田 雅 弘	風 影		
第五分団	2 部部長	山 川 浩			分 団 長	加 藤 幸 男			
	分 団 長	木 崎 秀 尚			副分団長	浅 見 照 雄			
	副分団長	馬 場 茂 幸			本部部长	平 沼 弘 志			
	本部部长	小 嶋 宏 幸			1 部部長	宇 川 恒 夫		坂 石 町 分	
	1 部部長	小 川 和 義			2 部部長	毛 利 康 夫		坂 石	
	2 部部長	馬 場 健			3 部部長	田 中 充 宏		吾 野	
第六分団	3 部部長	石 森 一 雄			4 部部長	浅 見 実	南 川		
	4 部部長	川 口 泰 司			5 部部長	鴨 下 福 一	北 川		

消防団の階級

現在飯能消防団は、団長をトップに副団長・分団長・副分団長・部長・班長と七つの階級があります。それぞれに階級章があり、訓練、式典等必ず右胸部に付けて出動しています。



団 長



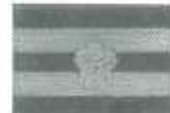
団 長 章



分 団 長



副 団 長



部 長



副 分 団 長



団 員



班 長



消防団のイメージアップを図る為、10月より、作業服着用時の略帽に代わり、アポロ帽が飯能・日高・名栗消防団に支給されました。

ちょっとベリーグッドなアポロキャップ

12月1日(日)午前8時より防災センターで飯能消防団特別点検が行われます。ぜひご来場ください。午前七時にサイレンを鳴らします。

編集後記 日頃より、消防団にご理解をいただきありがとうございます。危機管理の欠乏が叫ばれている現在、生命・財産を守るために、一人一人が身の回りをもう一度見直していただきたいと思っています。団員一同訓練等に励み、その一助を担うべく努力いたしておりますので、一層のご協力をお願いいたします。また、これを機会に、皆さんの入団を期待しております。

副団長 田淵誠太郎

編集委員

本部分団長 加藤 潔
第一分団 沼崎 修一
第二分団 大澤 正幸
第三分団 小川 勝
第四分団 細田 正之
第五分団 馬場 茂幸
第六分団 今泉 一夫
第七分団 関谷 幸夫
第八分団 大窟 信行
第九分団 大野 正幸
第十分団 平沼 弘志
本部部长 小嶋 良造
副分団長 木崎 幸長
写真担当 木崎 幸長
題字は吉田行男様に、協力いただきました。